一般質問

６月７日、10日、11日、13日、14日の５日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

町田の子どもの目を守るために

渡辺さとし（まちだ市民クラブ）

問　町田の小学校・中学校に通う子どもたちの近視の現状はどうなっているか。

学校教育部長　小学校の近視率は都より約1・3ポイント高く、多摩26市とでは約2・4ポイント高い状況です。中学校は都と同率の24・6％ですが、多摩26市とでは約3・6ポイント高い状況です。

問　近視の抑制効果があるといわれている屋外での1日2時間活動は学校教育にどのように反映されているか。

指導室長　1日2時間外で活動する時程を組むことは難しいのが現状になります。

問　近視の抑制策や近視のリスクを保護者に、丁寧に情報周知を行うべきだがどうか。

指導室長　タブレットを使うときの約束を保護者にも配付し周知しています。近視のリスクは、「保健だより」などを通じて啓発していきたい。

母子健康手帳のデジタル化を

いわせ和子（選ばれる町田をつくる会）

問　母子健康手帳のデジタル化を。

榎本副市長　市は、国が進めるデジタル化の乳幼児健康診査事業の先行実施自治体として採択されており、24年度中の事業展開に向けて体制整備等を進めているところです。

問　5月5日に「町田市子どもにやさしいまち条例」が施行されたが、今後の具体的な展望は。

子ども生活部長　24年4月に虐待への予防的対応や個々の家庭に応じた切れ目のない支援など相談支援体制を強化するため、町田市こども家庭センターを設置しました。さらに25年度には都が（仮称）町田児童相談所を設置し、都との連携が一層強固なものとなります。今後も、子どもにやさしいまちの実現を目指し、子どもの権利を保障し、実践的な施策を進めていきます。

誰もが働きやすい町田のために

今村るか（まちだ市民クラブ）

問　4月から障がい者法定雇用率は2・8％、昨年度の市は2・32％。数値目標を記した障がい者雇用計画策定を望むが、昨年度の取組を問う。

総務部長　軽作業を集約した（仮称）ワークサポートルームの立ち上げを目指し、準備をしているところです。また、スムーズに職場で働くためのサポートをするジョブコーチの配置を準備しています。

問　市内企業の正社員採用支援に加え、パート等の採用においても社会資源などを活用した支援が有効と考える。市の取組を問う。

経済観光部長　24年3月に開催した東京町田合同企業説明会は、高評価を得たことから、24年度も実施予定としています。市及び町田商工会議所では、パートやアルバイトを対象とした人材確保の取組は行っていません。

高校生等医療費／手話言語条例

松葉ひろみ（公明党）

問　令和五年十二月定例会でも訴えた高校生等の医療費助成の所得制限撤廃について、町田市の考えは。

市長　所得制限を撤廃することで経済的負担を軽減できると結論づけ、制度の見直しを行いたいと考えております。

子ども生活部長　25年4月から実施予定としています。

問　町田市における手話言語条例の制定予定は。

榎本副市長　条例の制定によって、共生する地域社会の実現を目指していきます。

地域福祉部長　共通認識の醸成、相互理解の促進を必要と考えています。

問　令和五年六月定例会以後、視覚障がい者のための音声コードは導入したのか。

選挙管理委員長　都知事選挙から印字して郵送します。

税務担当部長　通知の封筒へ導入検討を進めていきます。

音声コード「Uni-Voice」の二次元コードが印字された投票所入場整理券の封筒

国際工芸美術館計画は見直しを

新井よしなお（無所属）

問　当初28億5千万円だった工事費は本年12月頃の予測が約40億円、物価動向が落ち着くまで延期し、市民と話し合い計画を進めるべきだが。

文化スポーツ振興部長　23年3月に実施設計を終え、工事発注に向け準備を進めています。近隣の地域住民、市民の方々に丁寧に説明を行い、事業を進めていきたい。

問　入札時期はいつか。

営繕担当部長　24年10月から11月頃を予定しています。

問　VE提案を採用してクレーンを版画美術館側と決定した場合は、その時点で市民に説明をすべきと考えるが。

営繕担当部長　工事の仮設計画においては、施工者が決まった後に、地域の皆様からいただいたご意見を踏まえ、決定していきます。またVE提案も踏まえながら、適切な時期に説明をしていきます。

香害／学校給食の個別対応状況

笹倉みどり（まちだ市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例）

問　「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」において化学物質過敏症の扱いは。

地域福祉部長　化学物質過敏症を原因とする心身の機能の障がいが生じ、かつ障がい及び社会的障壁により継続的に生活に相当な制限を受ける状態と認められる場合は、条例が対象としている障がい者になり得ると解釈しています。

問　宗教・信条等で食事制限のある子ども達への給食は。

学校教育部長　各学校において保護者などから食事の制約の状況を聞き取った上で、除去対応を行う場合や弁当の持参を求める場合など、対応を行っているところです。

問　学校給食の「随時喫食」制度の周知方法は。

学校教育部長　それぞれの児童に応じたご案内を保護者にしている状況です。

学校再編のスクールバス導入を

戸塚正人（まちだ市民クラブ）

問　学校再編について、再編による避難場所等の防災体制を早期に整え、地域住民に公表すべきと考えるが。

防災安全部長　新たな避難先や避難方法が決定した際は、漏れがないよう広報媒体を活用し情報発信をしていきます。

問　24年第1回定例議会において、スクールバス推進を求める決議が可決されたが、その後市の検討状況は。

教育長　通学に利用可能な公共交通機関がない場合に、優先的にスクールバスの導入を検討するものとします。

問　スクールバスの全庁的な活用の研究を求めるが。

学校教育部長　全体のバランスに配慮した運行計画の検討が必要なことや担い手確保が大変厳しい状況などが課題として挙げられます。通院支援などの活用については導入後の研究課題と考えています。

忠生スポーツ公園に時計設置を

若林章喜（選ばれる町田をつくる会）

問　忠生スポーツ公園に時計の設置を求める。

都市整備担当部長　閉園時間の把握など利用者の利便性を高めるため、今後時計の設置について検討していきます。

問　新教育長の教育方針を問う。

教育長　子どもを主語にする視点で教育を捉え直すことが大切で、子どもたちに何が必要で、求められているか常に考え、対応していくことが重要であると考えています。

問　「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」の制定に伴い、HP上での合理的配慮として、UDフォントなどを取り入れるべきだがどうか。

広報担当部長　やさしい日本語に自動変換する機能の導入を予定しています。より見やすくなるよう、UDフォントを含め、検討していきます。

中心市街地のまちづくりその31

三遊亭らん丈（自由民主党）

問　中心市街地のまちづくりの機運が高まっている今、町田駅周辺の再開発をどう進めていくのか。

櫻井副市長　市民等に丁寧に説明を重ねていきます。特に中心市街地関係者については、再開発が本格的に始動する今こそ、新たな対話の場の構築に努め、にぎわいと交流が生まれ続ける町の実現に向け、官民協働、連携によるまちづくりを推進していきます。

問　町田市立図書館が重点的に取り組む事業には、どんなものがあるのか。

生涯学習部長　子ども・若者の読書活動の推進事業や図書館体験事業などです。

問　7月3日から新紙幣が発行されたが、それに便乗した詐欺への市の対応を問う。

防災安全部長　警察署と連携し注意喚起を促し、イベント等で、周知をしていきたい。

高齢者支援・いじめ重大事態

秋田しづか（諸派）

問　高齢者の見守り、施設入所時の身元保証、死後事務等、国の補助金を活用して支援を実施してはどうか。

いきいき生活部長　他自治体の状況やその効果等を注視しながら、研究していきたい。

問　いじめ問題対策委員会の委員に利害関係者が含まれていた場合、欠員ではなく交代とすべきではないか。

指導室長　第三者ではない利害関係者が含まれていた場合、その案件に関わる調査は外れていただきますが、運営には支障ないと捉えています。

問　いじめ対応部署を市長直轄で設けてはどうか。

政策経営部長　子どもの様々な問題について対応している部署としては、子ども家庭支援課があります。今後よりよい形にしていくため、議員ご提案の事例も参考に研究していきたいと考えています。